UT Group
Upward Together

Press Release

2018年11月8日

各位

UTグループ株式会社
（証券コード：2146）

2019年3月期第2四半期連結決算
営業利益は前年同期比43.9%増の31億円
～技術職社員数が初めて2万人を突破～

2019年3月期第2四半期連累計期間の業績は、売上高484億円（前年同期比26.8%増）、営業利益31億円（前年同期比43.9%増）、四半期純利益20億円（前年同期比44.0%増）、一株当たり四半期純利益50.53円（前年同期比31.8%増）、技術職社員数20,565名（前年同期比17.4%増）となりました。

製造派遣業界で国内最大規模となったマニュファクチャリング事業が牽引し、旺盛な人材需要に応えたことで、すべての事業セグメントにおいて増収となりました。また、自動車関連分野で急増する需要に対応するため、採用体制の見直しを進めたことに加えて、単価上昇、管理効率の改善等により営業利益率が向上しました。

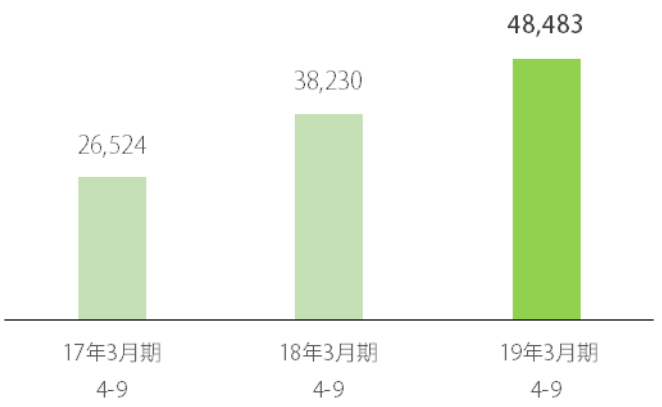
主な業績指標の推移

[百万円]	18.3 4-9	19.3 4-9	増減率
売上高	38,230	48,483	26.8%
EBITDA	2,421	3,411	40.9%
営業利益	2,173	3,126	43.9%
四半期純利益	1,417	2,040	44.0%
一株当たり四半期純利益 [円]	38.35	50.53	31.8%
技術職社員数　[名]	17,518	20,565	17.4%

※「四半期純利益」は「親会社株主に帰属する四半期純利益」を記載しています。

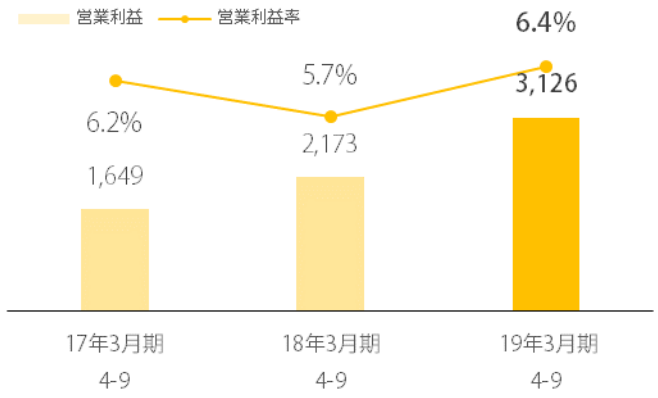
売上高推移

[百万円]



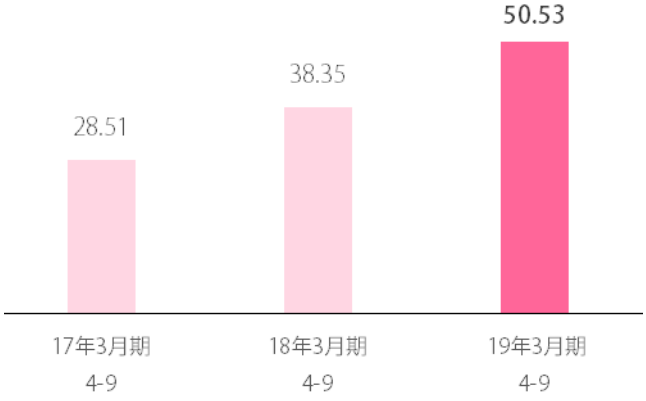
営業利益推移

[百万円]



一株当たり四半期純利益推移

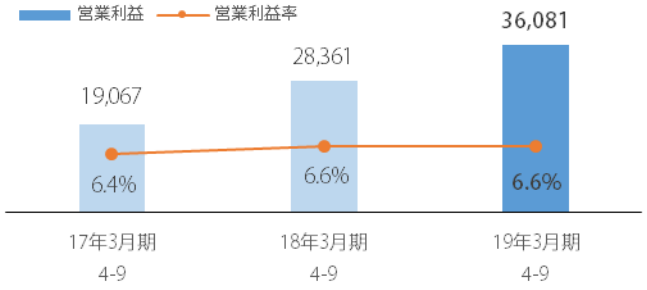
[円]



セグメント別業績

マニュファクチャリング事業

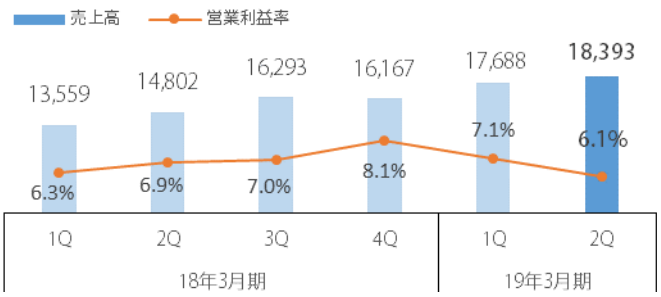
前年同期比



・人手不足による採用難、契約社員からの切り替え需要など派遣需要は引き続き旺盛

・自動車関連分野での需要が急増し採用効率が一時的に低下するも、単価上昇や管理効率の向上により営業利益率を維持

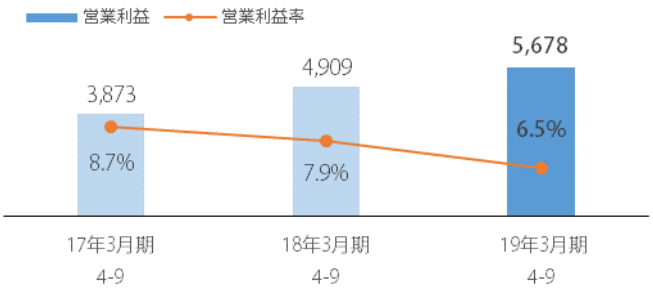
前四半期比



・自動車関連分野の増加により第2四半期の稼働日数が減少、災害による稼働停止の影響もあり利益率が低下

ソリューション事業

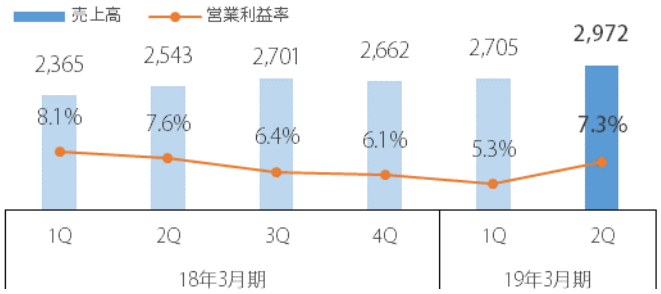
前年同期比



・前期に立ち上げたUTHPの収益が安定化したことに加え、今期より立ち上げたFUJITSU UTが寄与し売上高が増加

・第1四半期にUTパベックにおいて新規立上げ費用が発生したことにより営業利益率は低下

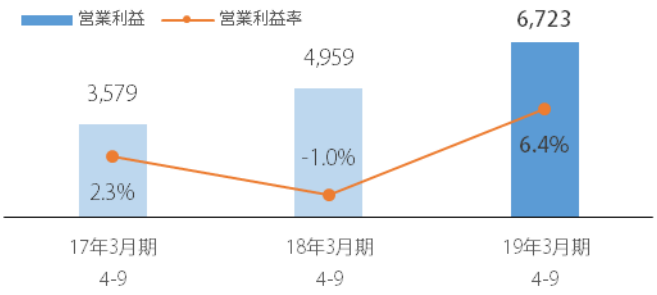
前四半期比



・第2四半期は立ち上げ費用がなくなったことにより増益

エンジニアリング事業

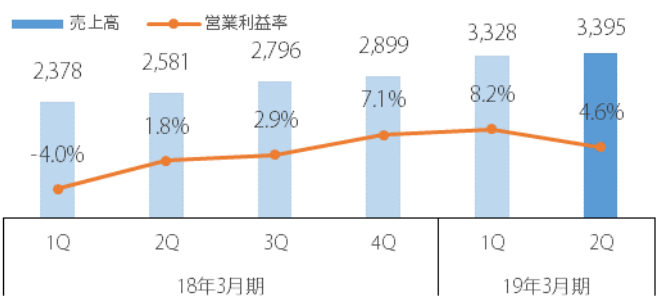
前年同期比



・新卒採用、グループ内転職制度「One　UT」により技術職社員数が増加し、増収を達成

・営業管理体制の見直し、子会社の統合等により収益性が改善

前四半期比



・19年卒内定者のエンジニアリング事業への振り分けを見直したことにより募集費が増加したため減益

下期の見通し

2019年3月期第2四半期連累計期間において、マニュファクチャリング事業で急増した自動車関連分野からの需要に対応するため、採用体制の見直しを進めたことから、下期では採用効率が改善する見込みです。また、各セグメントでの人材需要は引き続き強いことから、安定的な収益拡大を見込んでいます。

なお、決算の詳細については当社ホームページに掲載の決算短信をご覧ください。
https://www.ut-g.co.jp/ir/library/earnings/index.html

以上

本件に関するお問い合わせ先	社長室IRユニット　小池　TEL: 03-5447-1710